

水環境共働ビジョン

地域が支える流域の水循環

平成22年度 活動報告

「地域の水環境への取り組みが大きな流域の水循環を支える」という考え方のもと、次世代への良好な水環境を受け継ぐために、「水環境共働ビジョン～地域が支える流域の水循環～」を策定し、H20年度からモデル地区（本地新田地区、西中山地区、高橋・上野・東山地区、西広瀬地区）を中心に活動しています。

H22年度は、若林地区でも活動を始め、組長さんを対象にした水環境に関する意識調査アンケート、ワークショップ、11月には「生物多様性の保全のために私たちができること」というタイトルで水環境共働ビジョンに関する講演会を開催しました。

水環境に関する意識調査アンケート

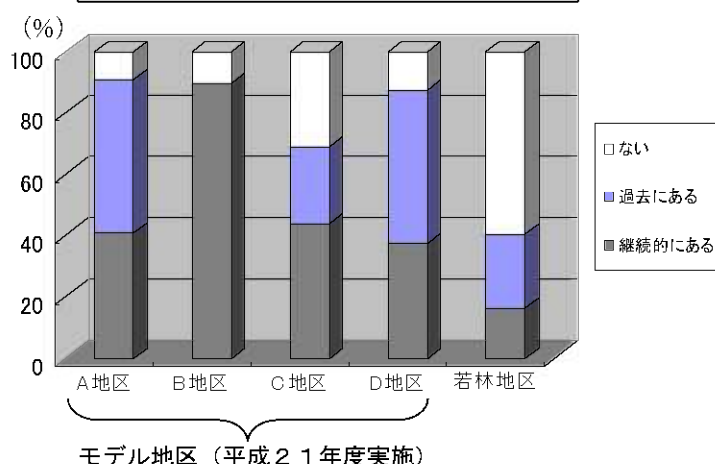
対象：若林地区（回答32枚）
実施時期：6月下旬～7月上旬

詳細は豊田市上下水道局下水道建設課のHPに掲載する予定です。

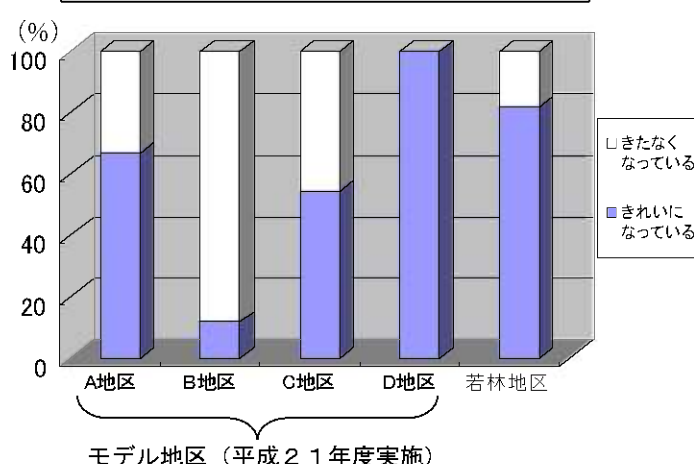


下水道イメージキャラクター
ミカボちゃん

Q. 水に関わる何らかの取り組みを行っていますか。



Q. 地元の河川の水質は昔と比べてどうですか。



普段から河川の愛護活動に参加している方とそうでない方で水環境に関する意識に差があり、河川の水質については下水道整備が進んでいる地域ほど河川の水質はきれいになっていると感じている方が多いことがわかります。

A地区: 本地新田地区 B地区: 西中山地区 C地区: 高橋・上野・東山地区 D地区: 西広瀬地区

ワークショップ



実施日時：9月25日（土）

場所：若林交流館

参加者：21名

若林地区の環境委員会の皆さんと、水に対する思い（良いこと・良くないこと・要望等）を付箋に書き、地図に貼るミニワークを通じて意見交換を行いました。

水環境共働ビジョンに関する講演会

生物多様性の保全のために、
私たちができること

実施日時：11月20日（土）

場所：若林交流館

参加者：75名



今年度は、愛知県と共働で講演会を開催しました。生物多様性活動報告リレーでは、若林地区による「逢妻男川の水質調査」の報告や、若園地区による「みんなの手でつくる若園の森」、矢作川研究所の洲崎主査による「初音川のビオトープについて」等、逢妻男川流域におけるさまざまな取り組みが伺え、参加者の方々からご好評をいただきました。今後もこのような活動を行い、豊田市の水環境意識の向上を図っていきます。

皆さんの周りでも「水」との触れ合いの輪を広めませんか！

水道は暮らしの水



豊田市下水道イメージキャラクター

“ミレちゃん”

編集・発行／豊田市上下水道局下水道建設課 〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地

TEL：0565-34-6624

FAX：0565-34-0226

e-mail：g_kensetu@city.toyota.aichi.jp

このパンフレットに関するご意見を
郵便、FAX、メールにてお寄せください。